

福島第一原子力発電所 土壤中のPu測定結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
グラウンド(西北西約500m)	5月16日 日本分析 センター	$(1.3 \pm 0.13) \times 10^{-1}$	$(6.5 \pm 0.86) \times 10^{-2}$
野鳥の森(西約500m)		N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(3.8 \pm 0.60) \times 10^{-2}$	$(1.8 \pm 0.41) \times 10^{-2}$
グラウンド(西北西約500m)	5月19日 日本原子力 研究開発機構	N.D.	N.D.
野鳥の森(西約500m)		N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		N.D.	N.D.
グラウンド(西北西約500m)	5月23日 日本分析 センター	$(1.5 \pm 0.13) \times 10^{-1}$	$(5.9 \pm 0.77) \times 10^{-2}$
野鳥の森(西約500m)		N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(1.0 \pm 0.11) \times 10^{-1}$	$(4.1 \pm 0.64) \times 10^{-2}$
国内の土壤		N.D. ~ 1.5×10^{-1}	N.D. ~ 4.5

: 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年~平成20年

2. 評価

5月16日ならびに5月23日に検出されたPu-238とPu-239、240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、グラウンドならびに産廃処分場においては、3/21以降にサンプリングした試料からPu-238およびPu-239、Pu-240が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以上